

平成29年4月20日
山形大学

学士課程教育の質保証

～3年3回3種の基盤力テストによる学生の達成度評価の実施～

山形大学では、平成29年4月5～6日に新入学生を対象とした、学生所有のスマートフォンを使用したアプリベースの基盤力テストを実施しました。

基盤力テストは高大連携および学士課程教育の質保証と可視化を目的に学生の達成度を測定するために開発されました。学問を学ぶための学力を測定する学問基盤力テスト、人間力の育成に関連する実践地域基盤力テスト、語学力や国際的な理解を評価する国際基盤力テストからなります。今回は学問・実践地域基盤力テストを実施しました。全学生対象・学生所有スマートフォンベース・統一的な全学部横断での直接測定による達成度テストの実施は、それぞれ世界でも類を見ない試みです。

テスト結果は、学びの省察と今後の見通し付けのために個々の学生に返却され、また、詳細な分析を行うなどして学士課程教育改善のために利用されます。

<基盤力テストの目的>

基盤力テストは各学生の達成度の伸びを可視化し学士課程教育の効果と質保証を評価検証するために開発されました。基盤力テストは以下の3種により構成されます。

- ・学問基盤力テスト：学問を学ぶための学力を測定
- ・実践地域基盤力テスト：人間力やキーコンピテンシー^(※1)といった実践的な力の測定
- ・国際基盤力テスト：語学力や国際経験・理解などグローバルに活躍する力の測定

これらのテストを入学時、1年終了時、3年次に実施し学生に結果を提示し、3年間での学びの達成度を可視化し自省を促し、保護者・保護者などステークホルダーへの提示も含め、その後のキャリア形成に資することが目的です。また基盤力テストの結果を用いて学士課程教育の効果の評価検証し改善を行います。

(※1)学力以外の、コミュニケーション力や積極性など

<基盤力テストの内容>

今回実施した基盤力テストの具体的な内容は次のとおりです。

- ・学問基盤力テスト
数的文章理解^(※2)、数学、物理学、化学、生物学（各5問程度）
- ・実践地域基盤力テスト
主要5因子性格調査、大学生生活困りごと調査
- ・国際基盤力テスト（今回は実施していませんが今年度中に実施します）
TOEIC-IP、各種資格試験、留学等国際経験

実施時間を効率化するために項目反応理論を用いた^(※3)出題をおこなっています。

(※2)数的文章理解は数的データやグラフと説明文を対照して理解度を測定します

(※3)学力に応じて適切な設問を自動的に出題する手法

＜基盤力テスト実施の概要＞

平成29年4月5～6日に平成29年度入学生全員（1731名）を対象に基盤力テスト実施用のアプリ（YU Portal）の導入指導を行ったうえで、各学生に所要30分程度でテストを実施しました。学生のスマートフォン所有率は99%以上で、所有していない学生には大学所有の端末を貸出しました。その結果、6日終了時点の基盤力テスト回答率は99.9%となっています。

＜基盤力テストの特徴＞

これまで、人間力などの教育評価は、学生アンケートなどを利用した主観的な間接評価が中心であり、客観性という観点では必ずしも正確なものではありませんでした。加えて、現行の学士課程教育においては、各科目で身につく能力を各々パラメータ化し、卒業までの単位数で加算するという方式が主流となっています。こうした現状では、同じ科目を受講してきた学生は同等に能力が向上していると仮定し、学生の個性や個々に獲得した能力を把握することに限界があるため、昨今、強く要請されている教育の質保証に十分対応できない、という課題があります。

基盤力テストでは、対象学生に対する共通のテストを3回実施し、山形大学で何を学び、個々の能力の達成度と伸びを直接測定することにより、個々の学生に寄り添った可視化を行い、教育の質保証上の課題を解決します。また、学生がこの結果を自省や今後の学びの見通し、キャリア形成のために利用するほか、学生が保護者、企業、地域などステークホルダーに対して、自らの能力の証明として提示できるようにします。

このように、全学生対象、学生所有のスマートフォンベース、全学部横断による広範囲なテストによる直接測定は、ICT、教育評価の観点からしても、世界でも類を見ない先進的な試みです。

なお、基盤力テストの開発と実施は、文部科学省の平成28年度「大学教育再生加速プログラム（AP）」による支援を受けています。

＜参考＞

- APプログラムについて（山形大学）

<https://ir.yamagata-u.ac.jp/about-ap-project/>



- 平成28年度大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」の選定状況について（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/ap/1374754.htm



（お問合せ先）

学術研究院 教授（基盤教育担当）

せん よ かつ み
千 代 勝 実

電話 023-628-4973